

『つなげよう 笑顔とあいさつあふれる 亀城ッ子』

藤枝市立西益津小学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	<p>仲間づくりステージ</p> <p>入学式（1年生） ペア顔合わせ 校内子供会</p>	<p>◎人間関係づくりプログラム ①出会い ②聴き方</p> <p>・気持ちのよいあいさついっぱい の西益津小学校にしよう。 ・学校生活のルールとマナーを 覚えよう。</p>	<p>職員会議による 提案</p> <p>子供を語る会</p>
5月	<p>運動会（全学年） 小小中交流会（6年生）</p>	<p>◎人間関係づくりプログラム ③自己表現</p>	<p>職員や子供たち同士による ピア・サポート活動の共通 理解・呼びかけ・ 価値付け</p>
6月	<p>挑戦ステージ</p> <p>ペア活動 授業を見合う週間 西中生による読み聞かせ</p>	<p>◎人間関係づくりプログラム ④対処・対応</p> <p>・自分の目標に向かって 努力しよう。 ・ピア・サポート活動を 大切にしよう。</p>	
7月	夏休み前集会	<p>・自分の目標に向かって 努力しよう。 ・ピア・サポート活動を 大切にしよう。</p>	<p>【年間を通して】 タ打ちでの情報交換</p>
8月	夏休み明け集会		
9月	ペア活動・クラブ活動	<p>・友達と共に力をのばし、 夢に向かっていこう。 ・田中藩日知館の伝統を 引き継いでいこう。</p>	<p>定期的な学校生活アンケート実施</p>
10月	<p>高め合いステージ</p> <p>6年生修学旅行 5年生自然体験教室 就学時健康診断 クラブ活動</p>		
11月	<p>亀城祭（全学年） 西中生による読み聞かせ ペア活動・クラブ活動</p>	<p>・自分の成長を知り、来 年度への希望をつな ごう。 ・「ありがとう」いっば いの西益津小学校に しよう。</p>	<p>今年度の 振り返り 来年度に 向けて</p>
12月	<p>学校保健委員会（6年生） ペア活動・クラブ活動 亀城ッ子音楽会</p>		
1月	<p>感謝ステージ</p> <p>長縄集会（全学年）</p>		
2月	<p>6年生ありがとうの会 授業を見合う週間 ペア活動</p>		
3月	卒業式（6年生）		

【学びづくり】

【心づくり】

日々の授業実践の中で「みんなで作る授業」

日常生活の中で「亀城ッ子の誇り」と「自治力」を育む児童会活動

## 1 本校のピア・サポート

本校では、「自ら進んでよりよい判断・実行」を重点目標とし、学ぶ喜びと認められる場がある学校づくりや、互いに支え合い思いやり溢れる人間関係づくりに努めている。



「亀城ッ子宣言」は、田中城の跡につくられた本校で生活する子供たちが、よりよく生きるための指針である。子供たちは毎朝「亀城ッ子宣言」を唱え、それを意識して生活している。特に『一. 人をいたわります』『二. ありがとう・ごめんなさいを言います』は、ピア・サポートにつながるものであり、学校生活の様々な場面で大切にされている。6年生の修学旅行や5年生の自然教室でも出発前に唱えられ、子供たちにとって安心して生活するための拠り所となっている。

## 2 本年度の取組

### (1) 授業において

あたたかく、やさしい雰囲気の学級を土台にして、「聴く」「話す」を大切にした「みんなで作る授業」を意識しながら日々の学習を積み重ねてきた。6月までに「みんなで作る授業」とはどういう授業か、授業を見合う会での上学年の姿を参考にしながら、子供それぞれの思いや考えをもとに話し合い、各学級で目指す授業像を共有した。

また、ペアや近くの子と気軽にやりとりする機会を設け、小集団での話し合いを通して自分の思いや考えを相手に伝えることができるようにした。さらに、ステップ表を活用し、話すときの具体的な姿を示すことで、相手を意識した話し方ができるように授業づくりを進めた。

### (2) 特徴的な活動

#### ① 各学級でのいいところ見つけと紹介【提言1・7】

年度はじめに、各学級で毎日ピア・サポートの振り返りをするよう呼びかけ、帰りの会で、友達や自分のよいところ、頑張っていることを見つけ紹介し合う時間を設けた。そこで出されたピア・サポートをみんなで認め合い、さらに教師がその場で価値付けることで、思いやりの心を少しずつ広めていくことができた。

#### ② ペア活動【提言1・5・7】

1・6年生、2・4年生、3・5年生の異学年がペアを組み、年度当初の出会いから始まり、昼休みに一緒に遊んだり、「亀城祭」では「亀城音頭」を練習したり、「長縄集会」では、応援し合ったりした。特に、高学年が低学年の子供たちの気持ちに寄り添いながら遊びを考え、関わりの中でも、ペースを合わせてあげたりやさしく声をかけたりするなど、ピア・サポートの心を育み実践する場となった。

## 3 本年度の成果と来年度に向けて

昨年度までは、ピア・サポート委員会を中心に活動を推進してきたが、今年度は、日常の授業や生活の中での活動を軸として進めた。授業における友達との関わりの中で、「〇〇さんのおかげでわかった。」「～のような考えもあるんだ。」などと、友達の考えを聴いて共感したり納得したりする姿が多く見られ、「学習が分かる」と答える子が増えてきた。また、子供たちが身近なところでピア・サポートに目を向けることができるようになり、自分も何か人のためにできることがあるのではないかと考えるきっかけをつくることができた。

一方で、大切にしている「亀城ッ子宣言」については、唱えるだけになってしまっている面も見受けられる。「人をいたわります」とはどういうことなのか、子供たちに分かりやすい具体的な姿を取り上げ、様々な場面で自らの行動を振り返る場を設けていくことが必要である。